YURIHAMA
湯梨浜中学校だより
三智創造
9月
令和５年８月３１日
第１８号　文責　梅原憲和
〒689-0737
湯梨浜町大字長江５１番地
TEL（0858）47-5500

全国学力・学習状況調査の結果及び分析・方策について①

３年生が４月１８日（火）に実施した全国学力・学習状況調査の結果及び分析・今後の方策について報告させていただきます。

正答率％	国語	数学	英語
本　校	**６８**	**４８**	**３９**
鳥取県	６９	５０	４２
全　国	69.8	51.0	45.6
全国との比較	−1.8	−3	−6.6

【教科に関する調査をうけて】

右上の表のように、全体の正答率では国語、数学が県平均や全国平均より少し低く、英語が県平均より少し、全国平均よりかなり低いという結果でした。

＜国　語＞

領域別にみると、「知識・技能」の「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均よりかなり高くなっていました。一方で「思考・判断・表現」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において県と全国よりも低い結果となってしまいました。中でも、情報と情報の関係を理解したり、インタビューの内容を整理したりする質問で、県・全国と大きな差がついていました。日々の授業の中で他者と関わり、考えを深める活動を意識してきたものの、問いのようなインタビューの実践経験が少ないことなどが原因だと思います。質問紙では、「国語の勉強は好きだ」、「どちらかといえば好きだ」と答える生徒の割合は鳥取県と比べて少し低く、全国と比べると少し高かったです。そこで、ディスカッションやインタビュー、スピーチなど実際に日常生活の中でも起こりうる場面を授業の中で設定し、経験を通して力をつけていく授業づくりを目指していこうと考えています。「書くこと」については、引き続き授業の中で文章を作成する場面を設け、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書けるように徹底していきたいと思います。資料の読み取り、必要な情報の整理など自分の考えを書くまでの道のりも大切にしていきたいと思います。

＜教科に関する質問紙の結果＞
【国語】
肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目　　なし

肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目
▲自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか。

＜数　学＞

領域別にみると、「数と式」や「図形」、「関数」では鳥取県や全国よりも低い正答率でしたが、「データの活用」については鳥取県、全国の平均よりも高い正答率を示していました。「関数」の分野においては、全国平均に比べてかなり低い結果となっており、具体的には、グラフを関数として捉えること、関数を活用して具体的な数値を求めることができていませんでした。質問紙では、「数学の勉強

＜教科に関する質問紙の結果＞
【数学】
肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目　　なし

肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目
▲数学がすきである。　　▲数学の授業はよくわかる。
▲数学の授業で学習したことは、将来、社会の役に立つと思う。

日々の学校生活の様子はホームページでチェックしてください。
https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/

は好きだ」と答える生徒の割合は１／３程度であり、その割合は鳥取県や全国に比べてかなり低い結果でした。また、「数学の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと感じている」生徒の割合も、鳥取県や全国に比べて低い結果であり、日々の生活、授業の中で、数学の必要性や学ぶ意味･意義が感じられていないことがわかりました。そこで、日々の授業や単元の導入時において、数学と生活との関わりを具体的に示しながら、かつ、それによってどのような力がつくのかを生徒に伝えていきたいと思います。また、多くの領域で鳥取県や全国平均より低い結果のため、１、２年時の復習内容を取り入れながら授業を行っていこうと考えています。そして、数学的な技能面だけでなく、数量や図形についての考え方をつけることができるような授業を心がけ、それらを活用したり、それらをもとに説明し合ったりする場面を設定し、自分の言葉で伝える力を向上させていきたいと思います。さらには、数学の勉強が好きな生徒を増やすため、「分かる・できる」授業づくりや、数学のおもしろさを伝えていく授業を目指していきたいです。

＜英　語＞

領域別では「聞くこと」「読むこと」「書くこと」、すべての領域で６％前後低い結果でした。質問紙では、「英語の勉強は好きだ」、「どちらかといえば好きだ」と答える生徒の割合は５３．２％で、「英語の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと感じている」生徒の割合は８７．６％で、ともに鳥取県や全国と比べてほぼ同程度でした。英語を学ぶことの大切さや必要性については理解しているが、それがうまく英語の力に結びついていないという実態があることがわかりました。英語の必要性については理解している生徒が多いので、今後も英語への興味・関心を高めていけるような授業内容の工夫を続けていきたいと思います。一方で、知識・技能については十分な定着ができてないことを踏まえ、毎時間の授業の中で基本的な表現や語彙の定着を図るための活動を継続して行っていきたいと思います。また、まとまった量の英文を読んだり、自分の考えや状況を説明する英文を書いたり、述べたりする活動をさらに組み入れて、英語を使う場面を増やしていこうと考えています。

＜教科に関する質問紙の結果＞

【英語】

肯定的回答が全国平均をかなり上回った項目

- ○英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われている。
- ○原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われている。
- ○スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われている。
- ○聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べたりする活動が行われている。
- ○聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われている。

肯定的回答が全国平均をかなり下回った項目

- ▲将来、積極的に英語を使うような生活をしたりしたいと思う。

保護者アンケート記述内容への返答

（意見）

携帯の使用方法やSNS、写真の悪用トラブル等についてしっかり指導してほしい。

（回答）

１、３年生での情報モラル講演会の実施、日常のタブレット端末に関わる指導、校内で起こった問題への対応等、学校教育でできる指導については今後も行っていきたいと思います。ただ、学校は中学生の携帯電話所持がプラス面よりマイナス面の方が多いと考え、その購入には否定的な立場です。お子様に携帯電話を持たせる場合には、その使用方法に保護者の方が責任を持ち、ご指導いただきますようお願いします。